

第15回

でのお申し込み

下部の参加申込書をご利用下さい。

でのお申し込み

<http://fair.ksrp.or.jp/>

10月22日 木

10月23日 金

10月23日(金)10:00~16:30

【お申し込み】 国立研究開発法人 科学技術振興機構のHP <http://shingi.jst.go.jp/>

右記項目を記入下さい	団体名			
	住所	〒		
	氏名		TEL	
	E-mail		FAX	
	役職		所属	

右記項目をご記入下さい。

参加無料

第15回

北九州学術研究都市
(北九州市若松区ひびきの)

開 会 式 & 基 調 講 演

【日 時】10月22日(木) ■ 開 会 式 13:40～14:00
 ■ 基 調 講 演 14:00～15:00

【基調講演 テーマ】 **ものづくり100年の軌跡 ～そしてその先へ～**

【基調講演 講 師】 TOTO株式会社 代表取締役 社長執行役員 **喜多村 円氏**

第15回 産学連携フェア プログラム

セミナー

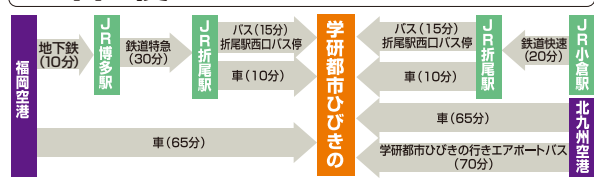
【日時】10月22日(木)・23日(金) ■10:00～17:30

【会場】北九州学術研究都市 各施設

交通アクセス

■「新尾駅西口」→「学園都市ひびきの」									
発 新尾駅西口					学 学園都市ひびきの				
発着 年月	経路 64	二葉線 64	丸井線 33	丸井線 33	経路 53	丸井線 35	丸井線 63	丸井線 63	ノット 特
9 10		51		20				10 30 40	
11			16					06 47	
12					17			51	
1	47	16							
2		17							
3						47			
13 14	47		17						

学研都市ひびきの→折尾駅西口間臨時バス運行！
1日3便 [運賃／片道230円] 是非ご利用ください。



公益財団法人 北九州産業学術推進機構 産学連携統括センター

TEL : (093) 695-3006 FAX : (093) 695-3439 E-mail: fair@ksrp.or.jp URL : <http://fair.ksrp.or.jp/>

A 産学連携センター **1階 総合案内所** **2階 セミナー会場** **3階 高専学生発表会** **4階 交流ルーム(休憩室)**

早稲田大学大学院情報生産システム研究科 吉江修研究室
「エネルギーハーベスティング技術の設備診断への適用可能性検討」
振動エネルギーを電気エネルギーへと変換する技術を用いた、回転機械故障診断のためのセンサネットワーク開発、Web上での診断サービス実現について、展示による説明を行う。

早稲田大学大学院情報生産システム研究科 立野研究室
「レスキュー隊員支援のためのリモートモニタリングシステム」
大規模災害発生時など既存の公衆ネットワーク回線が使用できない環境下において、レスキュー隊員の位置・行動・状況をモニタリングし適切な救助活動の支援と隊員の安全確認を行う事が出来るネットワークシステム構築のデモを行う。

福岡大学 北九州産学連携推進室
「福岡大学の環境研究と産学共同研究」
汚染土壌、不法投棄、不適正処分場の再生等環境修復技術、廃棄物の資源化技術研究の紹介および産学官連携ビジネス事例紹介を行う。

公益財団法人 福岡県リサイクル総合研究事業化センター
「リ総研 共同研究で開発したリサイクル製品やシステムの紹介」
当センターは、循環型社会形成に向けて産学官民の共同によるリサイクル技術の研究開発ならびに社会システムの構築に関する支援を行っている。共同研究により誕生したリサイクル製品・システムを是非ご覧ください。

九州共立大学
「九州共立大学 総合研究所のシーズ紹介」
九州共立大学 総合研究所の研究シーズを紹介する。経済学部・スポーツ学部を有する本学の研究分野に加え、環境分野や機能性材料などの成果を展示する。

西日本工業大学研究センター
「自動車・ロボット研究所の成果発表及び工学部の新領域紹介」
自動車・ロボット研究所の事例を2件(「プレス金型における自発高圧エアによるカス上がり問題の解決」、「自律型水中ロボットに関する研究」)紹介する。また工学部新領域(設備保全工学と知能制御工学)の教育内容を紹介します。

福岡県工業技術センター 機械電子研究所
「福岡県工業技術センターのご紹介」
工業技術センターは、「地域企業の発展を支援する実践的研究開発機関」を目指し、常に地域の企業様、技術支援機関、大学との連携を持ち、業務を行っている。当センターの業務を知っていただきたく、業務の紹介をする。

北九州市産業経済局新産業振興課
「北九州市環境エレクトロニクス研究センター」
北九州におけるパワーエレクトロニクス研究拠点として本年10月1日に開設した。次世代パワー半導体の設計、信頼性に関する研究等、研究センターの活動について紹介する。

第15回
**産学連携
フェア
展示企画**

事前申込不要

北九州
学術研究都市

M A P

I 早稲田大学大学院
ラボ見学ツアー

H 九州工業大学大学院

ラボ見学ツアー

生命体工学研究科パネル展示
九州工業大学生命体工学研究科

九州工業大学生命体工学研究科1階のロビーに展示コーナーを設ける。ここでは、本研究科の各研究室等における主要な研究内容等に係るパネル展示を行い、自由に見学することができる。



パネル展示概要1Fロビー

E 事業化支援センター

2階セミナー会場

B 会議場イベントホール

からだエレクトロニクス関連展示

株式会社パラマ・テック
「バイタルサイン連続モニタリング」



九州大学ナノ・マイクロ医工学研究室
「小さなセンサで作る大きな未来」



東芝情報システム株式会社
「からだみらい「安全運転見守りサービス」」

北九州市立大学、産業医科大学
「血圧測定技術習得のための教育用血圧計の開発」

九州ワダチ株式会社
「微量の酵素を検出する小型高感度の装置の開発」

RoboPlusひびきの株式会社
「静脈血栓症予防のための小型下肢運動補助ロボット」

その他、一般社団法人 日本電子デバイス産業協会(NEDIA)
株式会社産業タイムス社の展示あり

基調講演TOTO企業展示

TOTO株式会社
「FAIS助成金活用によるベッドサイド
水洗トイレの技術紹介他」
ベッドサイド水洗トイレは、簡単な工事でベッドの隣に設置可能な水洗トイレである。たとえ介護が必要になっても、排泄は極力自分の力で済ませたいという尊厳にも関わるような要求に応える商品である。介護シーンの中で一番負担がかかる排泄介護において、圧送排水技術による汚物処理や臭いの解消、施工の簡略化による費用・工期の削減が期待できる。

北九州発!新技術・新製品を紹介

リーフ(株)
「リハビリ用歩行支援ロボット」



(株)戸畑製作所/古河電池(株)/不二ライオン(株)/
産業技術総合研究所

「非常用電源としてのマグネシウム空気電池を実現する難燃性
マグネシウム合金鋳造薄板による革新的電極素材の開発」

(株)坂本電機製作所/明治コンサルタント(株)/アイフォーク(株)/
(株)オサシ・テクノス/早稲田大学

「地滑り・公共インフラ老朽化監視用低コスト・多機能・
高精度計測システムの研究開発」

(株)豊光社/コベル電子(株)/(株)シーディエヌ/九州工業大学/
(公財)アジア成長研究所

「エネルギー社会に対応した高機能パワーデバイスの高信頼性を
確保する超小型電流センサ及び製造ライン向け検査装置の開発」



C 技術開発交流センター

学研都市ひびきのバス停

D 学術情報センター

共同研究
開発センター

G 体育館

北九州市立大学
計測分析センター

環境エネルギー
センター

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

北九州市立
大学
特殊実験棟

C 技術開発交流センター

ひびきのLEDアプリケーション創出協議会の製品紹介

半導体・エレクトロニクス技術センターでは、半導体を活用した新たなアプリケーションの創出のため、「ひびきのLEDアプリケーション創出協議会」の活動を支援しています。今回は、同協議会参加企業の特長あるLED製品と、計測の新たなカタチ「新計測システム」をご紹介します。

- 〈出展者名〉
- ・(株)アドバンテスト / (株)アドバンテスト九州システムズ
 - ・イーアイエス(株)
 - ・(株)春日工作所
 - ・(株)環境フォトニクス
 - ・(株)豊光社
 - ・(株)STEQ
 - ・(株)朝日工業社
 - ・日本プライスマネジメント(株)
 - ・(株)マリンテック
 - ・(株)ロクリア



大光量LED投光器 新計測システムEVA100

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム紹介

全国25の大学や研究機関の持つ先端設備・装置を活用いただき、皆様の課題解決を加速・支援する文部科学省の事業です。事業概要と成果事例をご紹介します。

Nanotech Japan Nanotechnology Platform

次世代自動車の取り組み紹介

FAIS自動車技術センター

「超小型EVに搭載した全周監視カメラを使った研究の紹介」
超小型EV(コムス)に搭載した全周監視カメラ画像による周辺監視と障害物検知の実演を行う。

〈九州・ひびきの自律走行研究会の
自動運転デモ走行〉
駐車場ロータリーにて自律走行車の自動運転デモ走行を行う。
※雨天時は、屋内で展示&ビデオ上映する。

自律走行車デモ▶

〈EV展示ルーム公開〉

電気自動車「リーフ」の部品の他、軽量化部品サンプル、地場企業の開発製品、自動車技術に関する最新情報等を展示・紹介します。

EVルーム▶

人とロボットの新しい関係~体験できるロボットたち~

FAISロボット技術センター

- ・九州工業大学 宮本研究室
・球体駆動式 自動ライン引き
・全方向移動台車 ロボット
- ・九州工業大学 脇田研究室
・(有)ICS SAKABE
・アシスト付き空港用カート



・九州工業大学 吉田香研究室
・ヒューマン・ロボット・インタラクション



・北九州高専 滝本研究室
・次世代ロボットの展示
・空撮用飛行ロボット
・におい計測ロボット

産業用ロボット導入支援センターの公開

産学連携フェア開催中 約1時間毎に見学会(約15分程度)を開催
【見学会予定時間】AM/・10:00~・11:00~
PM/・13:00~・14:00~・15:00~
見学会予定時間に技術開発交流センター1Fロビーにお集まりください。

F 北九州市立大学

1階セミナー会場
ラボ見学ツアー

『環境技術研究所 研究事例紹介』 北九州市立大学 環境技術研究所

『マイクロノズル等の開発のための
三次元超音速噴流密度場計測装置
(シュリーレン定常断層撮影装置)の開発』

機械システム工学科 宮里研究室

燃料電池自動車(FCV)が使用する水素充填ノズル等の開発において、ノズルから流出する衝撃波を伴う噴流の密度場を三次元で工学的に計測できる世界初の「シュリーレン定常断層撮影装置」を紹介する。

『“身近な水中を手軽に見る”
小型フレーム構造ROV(Remotely
Operated Vehicle)の共同開発の紹介』

ニッスイマリン工業株式会社

実際に水深約40メートルに潜航して水中の様子を撮影してきた小型フレーム構造ROVの、ROV本体と制御及データ記録用の基地局などを、紹介パネルとともに展示する。

その他、国際共同研究の紹介など、環境技術研究所がもつ環境技術・共同研究の成果を紹介する。

『北九州市立大学・触媒研究の紹介~バイオマス・自然エネルギー利用
と最先端材料開発~』

エネルギー循環化学科 黎・今井研究室、朝見研究室、山本研究室、天野研究室
触媒系研究室で行われている、ナノ構造や細孔構造を持つ新規触媒材料の開発およびバイオマスの燃料や化学品への変換、太陽光エネルギーの利用への応用研究についてポスター等を展示し、紹介する。

《日時》平成27年10月22日(木)
●14:00～15:00

《会場》B 会議場 《定員》500名

テーマ ものづくり100年の軌跡
～そしてその先へ～

講師 TOTO株式会社 代表取締役 社長執行役員
喜多村 円 氏

■講演趣旨

100年にわたるTOTOのものづくりの原点は、まだ下水道が整備されていない時代にすべての国民へ「健康で文化的な生活を提供したい」といった『創業の魂』に始まる。先人の思い、社は、企業理念を通じ、永続的に「需要家の満足」「良品の供給」を実現し続けることが、ものづくり企業の努め。コアコンピタンスとなる衛生陶器事業を始めとして、これまでに国民の生活文化の向上を願い、開発してきた数々の水まわり商品のイノベーションの歴史や良いものづくりへの取り組みをご紹介します。また、真のグローバル企業の実現に向け、ものづくり日本の強みを活かし、厳しい国民の目で鍛えられたブランド力をもって、国内のみならず世界の人々の「健康で文化的な生活」を実現し、人々を笑顔にする、次なる挑戦について説明する。

■経 歴

昭和56年3月	長崎大学 経済学部卒業
昭和56年4月	東陶機器株式会社(現 TOTO株式会社)入社
平成17年4月	同社 経営企画グループ 経営企画部長
平成18年6月	同社 執行役員 経営企画グループ 経営企画部長
平成20年4月	同社 執行役員 システム商品グループ 浴室事業部長
平成23年4月	同社 常務執行役員 システム商品グループ担当 兼 浴室事業部長
平成23年6月	同社 取締役 常務執行役員 システム商品グループ担当 兼 浴室事業部長
平成24年4月	同社 取締役 常務執行役員 システム商品グループ担当
平成25年6月	同社 取締役 専務執行役員 システム商品グループ担当
平成26年4月	同社 代表取締役 社長執行役員 新領域事業グループ担当 兼 Vプラン新領域事業担当

見 学 ツ ア ー

要事前申込(各コース定員15名)

▶早稲田大学大学院情報生産システム研究科

- 【コース1】【日 時】10月22日(木)●10:00～10:45
【コース】《情報アーキテクチャー分野とデータ工学研究室の紹介》
若井原 瑞穂 研究室(ソーシャルメディアにおけるデータマイニング)
- 【コース2】【日 時】10月22日(木)●11:00～11:45
【コース】《最新LSIアーキテクチャと設計自動化技術の紹介》
渡邉 孝博 研究室(NoC構成技術および物理設計自動化技術の研究)
- 【コース3】【日 時】10月22日(木)●15:30～17:00
【コース】《先進的な材料応用技術の紹介》
①植田 敏嗣 研究室(センサ・MEMS技術の研究開発)
②巽 宏平 研究室(先進材料、パワーデバイス実装)

▶九州工業大学大学院生命体工学研究科

- 【コース1】【日 時】10月22日(木)●15:30～17:00
【コース】《生体機能応用工学専攻ツアー》
①山田 宏 研究室
(動脈病変や褥瘡への生体力学的アプローチ(材料試験と数値解析))
②馬 延龍 研究室
(ナノテクノロジーを利用した次世代太陽電池及び燃料電池に関する研究)
③池野 慎也 研究室(機能性ペブチドのバイオ・ナノテクノロジーへの応用)
- 【コース2】【日 時】10月22日(木)●15:30～17:00
【コース】《人間知能システム工学専攻ツアー》
①柴田 智広 研究室(ライフケアのための学習ロボティクス研究)
②ジアンドゥーソップ 研究室
(情報の「伝」「達」のためのICTシステム、KWMの紹介)
③石井 和男 研究室(ロボット競技会を通じたロボット開発)

同 時 開 催

B-2

FAIS北九州医歯工連携研究会&NEDIA Day
九州ひびきのコラボレーションシンポジウム第1弾

ここまで来た!!最新電子デバイスアプリケーション

要事前申込

からだエレクトロニクス

《日時》平成27年10月23日(金)
●13:00～17:15

《会場》B 会議場

■基調講演

「スロージョギング健康法」

福岡大学 スポーツ科学部 教授/
身体活動研究所 所長

田中 宏暁 氏

■からだエレクトロニクス

①「高血圧を測って知って健康になろう」

オムロンヘルスケア株式会社 志賀 利一 氏
學術技術部 技術専門職

②「血圧に関わる疾患の研究最前線」と
「診断・治療に有用な連続測定技術の開発」

産業医科大学 医学部 不整脈先端治療学 教授 安部 治彦 氏
株式会社バラマ・テック 代表取締役 深水 哲二 氏

③「動きながら測定できる小さな血流量センサ」

九州大学大学院 工学研究院 機械工学部門 教授 澤田 廉士 氏
九州大学バイオメカニクス研究センター センター長

国立高専専攻科学生研究発表会

《日時》平成27年10月23日(金)
●10:00～12:00

事前申込不要

《会場》A 産学連携センター 3F

《主催》北九州工業高等専門学校

■プログラム

A. 環境・資源・材料 ●10:00～11:00

発表テーマ
「Ag₆MeO₇(M=Si,Ge)に関する固体電子構造解析」等32発表

B. エネルギー応用・創生 ●10:00～11:00

発表テーマ
「CFRPの製造時温度が機械的性質に及ぼす影響の評価」等11発表

C. 機能・情報デザイン ●11:00～12:00

発表テーマ
「トマト収穫ロボットの画像処理と通信に関する研究」等40発表

ツアー集合場所：A 産学連携センター 1F 総合案内所
各ツアー出発の15分前より受付を行います。

▶北九州市立大学国際環境工学部

- 【コース1】【日 時】10月22日(木)●10:00～11:00
【コース】《ものづくりツアー》
①宮里 義昭 研究室(超音速流れと衝撃波の光学観察)
②趙 昌熙 研究室(人工関節の有限要素法シミュレーションの紹介)
③長 弘基 研究室
(形状記憶合金を用いたエンジン・アクチュエータの紹介)
④泉 政明 研究室(燃料電池に係わる研究施設の紹介)
- 【コース2】【日 時】10月22日(木)●11:00～12:00
【コース】《循環型社会を目指す触媒研究ツアー》
①黎 曉紅・今井 裕之 研究室
(バイオマスから化学品への触媒的変換について)
②朝見 賢二 研究室
(次世代輸送用燃料用触媒反応プロセスについて)
③山本 勝俊 研究室
(ナノポーラス物質の合成と分析)
④天野 史章 研究室
(光エネルギーの化学的変換について)

【コース3】【日 時】10月22日(木)●13:00～13:50

- 【コース】《水環境・水処理ツアー》
①安井 英斉・寺嶋 光春 研究室(排水の生物処理について)
②石川 精一 研究室(用水の物理化学処理について)

▶学研都市見学ツアー

- 【日 時】10月22日(木)●10:20～12:00
【コース】①学研都市概要説明(10分)
②共同開発センター(ケミカルプロセス室等)(20分)
③環境エネルギーセンター(20分)
④産業用ロボット導入支援センター・EVルーム(30分)

セミナー企画

要事前申込

	A 《産学連携センター》			B 《会 議 場》	C 《技術開発交流センター》	D 《学術情報センター》	E 《事業化支援センター》	F 《北九州市立大学》
	研修室	中会議室1	中会議室2					
10:00								
11:00	A-1	A-3	A-5					
12:00								
13:00								
14:00								
15:00				B-1				
16:00	A-2	A-4	A-6					
17:00								
18:00								

10:00								
11:00	A-7	A-10	A-13					
12:00								
13:00	A-8	A-11	A-14					
14:00								
15:00				B-2				
16:00	A-9	A-12	A-15					
17:00								
18:00								

A-1 平成27年度 地域イノベーション戦略支援プログラム 福岡次世代社会システム創出推進拠点「成果発表会」

【主催】公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団

【日時】10月22日(木)10:00～12:00

定員90名

【発表1】「地域イノベーション戦略支援プログラム取組概要について」

福岡県産業・科学技術振興財団 プロジェクトディレクター 大津留 榮佐久氏

【発表2】「3次元LSIによる画像処理チップ及び次世代画像符号化(HEVC)の低消費電力化の研究」

早稲田大学 大学院 教授 木村 晋二氏

【発表3】「インダストリー4.0を支えるユビキタス・センシングゾーンの形成 ～高性能無線(ViKホール)が拓く新領域」

九州大学 大学院 教授 古川 浩氏

【発表4】「高機能・高信頼性モジュールのための高付加価値インターポーザに関する研究」

福岡大学 教授 友景 肇氏

【発表5】「船舶用フルカラー型高輝度LED閃光・回転灯の開発」

株式会社マリネット 技師 野条 丈洋氏

【発表6】「ミニマルファウンドリ事業デバイス試作」

株式会社ビー・エムティ 経営企画室 室長 三宅 賢治氏

文部科学省の支援により実施している地域イノベーション戦略支援プログラム「福岡次世代社会システム創出推進拠点」に関する参画大学の研究開発成果及び、同プログラムの関連事業である先端半導体関連製品開発支援事業の成果を発表する。

お問い合わせ 公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団 [担当:白谷]
TEL 092-832-7155 E-mail : k-shiratanii@ist.or.jp

A-2 「知的財産」で会社の底力を引き出そう! ～わが社の強みを事業に活かす・知的財産による活性化策～

【主催】福岡県工業技術センター機械電子研究所
福岡県工業技術センタークラブ機械電子技術部会

【日時】10月22日(木)15:30～17:30

定員90名

土生特許事務所 弁理士 土生 哲也氏

模倣品を排除するため、権利侵害で訴えられないため・・・知的財産を意識すべき理由は、それだけではありません。自社の強みを「見える化」して、開発力や販売力の強化につながる・・・国や各地の事業で多くの先進事例を調査した講師が、中小企業が知的財産に取り組む真の意義を明らかにします。

お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所 技術総合支援室 [担当:田上・松野]
TEL 093-691-0231 E-mail : info-meri@fitc.pref.fukuoka.jp

A-3 先端エコフィッティング技術研究開発センター・ワークショップ ～大気のリソース化、光のエネルギー化～

【主催】九州工業大学 先端エコフィッティング技術研究開発センター

【日時】10月22日(木)10:00～12:00

定員70名

【講演1】「円筒の形をした太陽電池の新用途開拓」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 /
先端エコフィッティング技術研究開発センター 環境共生電子素子研究ユニット 教授 早瀬 修二氏

【講演2】「二酸化炭素資源化を目指す光電気化学プロセス開発」

九州工業大学 工学研究院 応用化学部門 /
先端エコフィッティング技術研究開発センター 新資源開拓研究ユニット 教授 横野 照尚氏

【講演3】「メタン細菌高集積汚泥を活用した二酸化炭素をバイオエネルギーに変える効果的バイオプロセス」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科 / 先端エコフィッティング
技術研究開発センター 環境共生バイオプロセス研究ユニット 准教授 前田 憲成氏

【講演4】「空気と水から1ステップでアンモニアを合成する化学プロセス革新」

九州工業大学 大学院生命体工学研究科 / 先端エコフィッティング技術研究
開発センター 新資源開拓研究ユニット、同センター長 教授 春山 哲也氏

我が国のみならず、地球が抱える大課題である「環境とエネルギー」。当センターは、平成19年の開設以来この課題に取り組み、独創的ソリューションを創出し、産業技術へとつなげてきました。推進中の研究課題から「大気のリソース化、光のエネルギー化」を目指す科学技術研究4課題を概説します。

お問い合わせ 九州工業大学 大学院生命体工学研究科
[担当:准教授 前田憲成] TEL 093-695-6064
E-mail : toshi.maeda@life.kyutech.ac.jp

A-4 エネルギー社会に対応した高機能パワーデバイスの高信頼性を 確保する超小型電流センサ及び製造ライン向け検査装置の開発

【主催】株式会社豊光社

【日時】10月22日(木)16:00～17:00

定員70名

株式会社豊光社 センサ事業部長 田代 勝治氏
九州工業大学 大学院工学研究院電気電子工学研究系 教授 大村 一郎氏
北九州市産業経済局産業振興部新産業振興課 上級研究員 附田 正則氏

IGBT等の高機能パワーデバイスは近年社会インフラの重要なキーコンポーネントとなっている。その為、信頼性の確保が課題であり特に並列チップ間での電流集中による破壊の防止は安全確保の面からも重要である。豊光社は九州工業大学、北九州市などとの共同研究により非接触・非破壊で電流/ランスの高速測定が可能な革新的超小型電流センサ及び判定方法を開発した。

お問い合わせ 株式会社豊光社 センサ事業部 [担当:田代]
TEL 093-581-4471 E-mail : tashiro@hohkohsya.co.jp

A-5 IPOの最新動向とIPOを活用した成長戦略

【主催】証券会員制法人 福岡証券取引所

【日時】10月22日(木)10:30～11:30

定員70名

【講演1】10:30～10:50 「IPOの最新動向」

福岡証券取引所 営業部主任調査役 牛島 亮太氏

【講演2】10:50～11:30 「IPOを活用した成長戦略」

福岡証券取引所 営業部長 小島 隆之氏

最近のIPO企業の特徴や動向について、最新のデータに基づき解説します。また、経営者が事業展開を進めていくなかで、企業成長のための一つの手段である上場とは何かを知っていただくともに、実際にIPOを通じて更なる成長・発展をしている福岡証券取引所上場企業の事例を紹介します。

お問い合わせ 福岡証券取引所 営業部 [担当:小島]
TEL 092-741-8233 E-mail : kojima@fse.or.jp

A-6 人材確保に役立つ新人事戦略セミナー

【主催】株式会社ワールドインテック

【日時】10月22日(木)15:30～16:30

定員70名

株式会社ワールドインテック ソリューション室 課長 村石 豪一氏

雇用情勢の改善や少子高齢化により、企業の「ひと」を取り巻く環境は益々厳しさを増しており、人材確保、定着向上を経営課題として捕らえている企業も多い。セミナーでは、公共の施策や人材ビジネスの活用に加え、新人事制度の導入・活用等、事例を紹介しながら、企業の「ひと」に関する課題解決を提言する。

お問い合わせ 株式会社ワールドインテック ソリューション室 [担当:上野]
TEL 092-481-0210 E-mail : y.ueno@witc.co.jp

A-7 第2回3Dものづくり技術研究会 「生産性革新のための3Dものづくり技術活用の秘訣と活用事例」

【主催】公益財団法人 北九州産業学術推進機構(FAIS) ものづくり革新センター

【日時】10月23日(金)10:00～12:00

定員90名

【講演1】「3D-CADを用いた3次元活用の方法と秘訣とは」

株式会社ストーンスーフ 代表取締役CEO 浦元 淳也氏

【講演2】「3D-CADの活用事例のご紹介」(仮)

講師調整中

【講演3】「3D-CAMの活用事例のご紹介」(仮)

講師調整中

CAD、CAMなどの3Dものづくり技術を如何に上手く活用するか、それは企業競争力にとって重要な課題です。この分野の専門家が失敗しないための考え方や方法について熟く語り、ユーザー企業様が自社の活用事例について紹介します。

お問い合わせ 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 [担当:牛島]
TEL 093-695-3006 E-mail : y-ushijima@ksrp.or.jp

A-8

ものづくり現場におけるデジタル化の技術動向
～産業用金属3Dプリンタの開発の方向性～

【主催】福岡県工業技術センター機械電子研究所
【日時】10月23日(金)13:00～14:30

定員
90名

「ものづくり現場におけるデジタル化の技術動向
～産業用金属3Dプリンタの開発の方向性～」
近畿大学 次世代基盤技術研究所 3D造形技術研究センター長 京極 秀樹氏
3Dプリンタの導入が欧米を中心に急速に進んでおり、ものづくりの重要な加工ツールとして注目されてきている。本講演では、産業用として中核となる金属3Dプリンタの現状と国家プロジェクト(TRAFFAM)の開発状況とともに、航空宇宙・自動車分野などの製造業への適用を含めたものづくりの方向性について紹介する。

お問い合わせ 福岡県工業技術センター機械電子研究所 [担当:竹下]
TEL 093-691-0260 E-mail : fkk@fitc.pref.fukuoka.jp

A-9

北九州環境ビジネス推進会10月例会
「産学双方向セミナー」

【主催】北九州環境ビジネス推進会
【日時】10月23日(金)15:30～17:30

定員
90名

【講演1】「持続可能な熱帯林管理に関する国際的動向およびビジネスの可能性」
九州工業大学 学習教育センター 准教授 大田 真彦氏
【講演2】「食品廃棄物の地域循環」
北九州市立大学 国際環境工学部 教授 松本 亨氏
【講演3】「世界トップの高校園:消費機能を有した高機能浄化製品の紹介」
株式会社フジコー 常務取締役技術開発センター長 永吉 英昭氏
【講演4】「スラバヤ市での廃棄物処理事業」
株式会社西原商事 専務取締役 西原 靖博氏

北九州環境ビジネス推進会は、北九州市内の環境関連企業41社から構成され、北九州市環境局に事務局が設置されている。今回の例会は<産学双方向セミナー>として、産側(企業側)および学側(大学側)から講師の先生をお招きし、グローバルな視点から個々の環境問題を捉え、環境ビジネスに向けたご講演を頂く。

お問い合わせ 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 [担当:中野]
TEL 093-695-6021 E-mail : nakano@life.kyutech.ac.jp

A-10

知っておきたい「特許・商標・意匠」の基礎

【主催】福岡県知的所有権センター
【日時】10月23日(金)10:30～12:00

定員
70名

(公財)福岡県中小企業振興センター 福岡県知的所有権センター 発表者については調整中
特許・商標・意匠などの知的財産権について、権利の対象、権利期間など基礎的内容について紹介する。さらに特許庁が運営管理するデータベースを利用した特許文献の調査方法について説明を行う。また審査料金の減免や外国出願支援事業など、特許庁の中小企業支援施策を紹介する。

お問い合わせ (公財)福岡県中小企業振興センター福岡県知的所有権センター [担当:斎藤]
TEL 092-622-0035 E-mail : ipc@joho-fukuoka.or.jp

A-11

結晶性酸化物ナノ材料の最新動向

【主催】石油学会 九州・沖縄支部
【日時】10月23日(金)13:00～15:00

定員
70名

【講演1】「有機-無機ハイブリッド型ナノポーラス材料の開発」
北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 山本 勝俊氏
【講演2】「多孔性モリブデン酸化物結晶の合成と吸着材料としての応用」
広島大学 大学院工学研究科 准教授 定金 正洋氏
【講演3】「酸化物ナノシートを利用したソフト階層構造の組織化と機能」
九州工業大学 大学院工学研究院 教授 中戸 晃之氏
結晶構造の明確さを利用したナノ空間や界面の設計に関して第一線で活躍する研究者3名による講演を行う。ナノメートルスケールの構造設計、無機-有機相互作用の制御、複雑な階層構造の構築、環境材料(吸着・分離)やエネルギー材料(触媒・電極)としての応用などの取り組みに関し、最新の結晶性ナノ材料技術を紹介する。

お問い合わせ 北九州市立大学 国際環境工学部 エネルギー循環化学科 [担当:天野]
TEL 093-695-3372 E-mail : amano@kitakyu-u.ac.jp

A-12

中小企業向け知財支援施策の紹介

【主催】九州経済産業局 特許室／九州知的財産戦略センター
【日時】10月23日(金)16:00～16:30

定員
70名

「中小企業向け知財支援施策の紹介」
九州経済産業局 特許室／九州知的財産戦略センター 地域知財活動調査員 中野 統崇氏
知財制度の概要に関する情報の提供と、知財総合支援窓口や減免制度等の知的財産に関する中小企業支援施策の紹介を行う。

お問い合わせ 九州経済産業局 地域経済部 技術企画課 特許室 [担当:中野]
TEL 092-482-5463

A-13

グローバル化する世界:
新たな時代にチャンスをつかむ日本

【主催】野村證券株式会社 北九州支店
【日時】10月23日(金)10:30～12:00

定員
70名

野村ホールディングス株式会社 コーポレート・シティズンシップ推進室
シニア・コミュニケーションズ・オフィサー 池上 浩一氏
21世紀、世界は急速にグローバル化し、グローバル化した。この急激な変化の中、海外投資家がどのように今後の世界を展望し、投資先を考えているのか、さらに今、地球社会でどのような人材が求められているのか、日本企業の掘りほけチャンス、企業支援及び海外経験豊富な人気講師がわかりやすく解説します。

お問い合わせ 野村證券株式会社 北九州支店 法人課 [担当:林・吉久]
TEL 093-511-1492 E-mail : hayashi-1jk@jp.nomura.com

A-14

大学アウトリーチ型企業内英語多読研修について

【主催】北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室
【日時】10月23日(金)13:00～14:00

定員
70名

北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室 准教授 岡本 清美氏
業務の国際化を目指す企業・団体にとって、社員の英語力向上には切実な課題だが、企業内で英語研修を行うには、費用だけでなく、企業の立地や規模、社員のレベル格差など多くの障壁がある。本セミナーでは、これらの問題を解決できる英語研修として、近年話題の「英語多読」を取り入れたHEROプログラムを紹介する。

お問い合わせ 北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室 [担当:岡本]
TEL 093-695-3204 E-mail : koka@kitakyu-u.ac.jp

A-15

第57回北九州医工学術者会議

【主催】北九州医工学術者協会
【日時】10月23日(金)15:00～17:00

定員
70名

【特別講演】「医療現場へのロボットの導入の難しさとリハビリテーションロボットでの経験」
東京女子医科大学 リハビリテーション科 准教授 和田 太氏
【一般講演】北九州医工学術者協会会員の演題
本会は、北九州地域における学術、産業の各分野における専門家の研究及び交流を通じ、専門家の知識と産業界の高度な先端技術力とを結集し、新たな学術環境の創造を図るとともに、地域に新しい産業・技術を創出することを目的としている。医師・歯科医師、工学者、企業関係者で、学際的意見交流を希望する者が対象です。

お問い合わせ 九州工業大学 大学院生命体工学研究科 人間機能代行システム
研究室内 北九州医工学術者協会事務局 [担当:和田]
TEL 093-695-6048 E-mail : kmec_office@yahoo.co.jp

C-1

工学部における応用研究の成果事例

【主催】西日本工業大学研究センター
【日時】10月22日(木)11:00～12:00

定員
45名

【講演1】「プレス金型における自発高圧エアによるカス上がり問題の解決」
西日本工業大学 工学部 教授 高(GAO) 峰(Feng)氏
【講演2】「モデル実験を用いた製造プロセス改善」
西日本工業大学 工学部 教授 中島 潤二氏
金型での抜き加工において、カス上がり問題は難題の一つである。講演1では、プレス金型の往復運動を利用して、強力な高圧エアにより、カスを完全に除去する方法を提案する。また、実践例として、高圧エアが発生できる実験用金型の構造およびそれによるカス除去実験の結果を報告する。
講演2では、プロセス改善におけるモデル実験の適用方法に関し実施例に基づき解説する。

お問い合わせ 西日本工業大学研究センター [担当:塩塚]
TEL 0930-23-1492 E-mail : proj@nishitech.ac.jp

C-2

パワーエレクトロニクス機器の熱設計
「熱解析シミュレーションの最新動向と熱設計」

【主催】公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団(福岡システムLSIカレッジ)
【日時】10月22日(木)15:30～17:30

定員
45名

株式会社サーマルデザインラボ 代表取締役 国峯 尚樹氏
多くの有名企業のコンサルティングで実績を持つ熱設計の第一人者であるサーマルデザインラボの国峯尚樹氏が、パワーエレクトロニクス機器の熱解析の最新技術動向や熱設計の現状と重要点を解説する。更に、「設計後の熱対策」から「熱対策を盛り込む設計」へシフトする設計プロセスの重要性を語る。

お問い合わせ 公益財団法人 福岡県産業・科学技術振興財団
福岡システムLSIカレッジ 事務局 [担当:有瀬]
TEL 092-822-1550 E-mail : lsi-college2@ist.or.jp

C-3

植物育成用LED照明装置の開発

【主催】株式会社環境フォトニクス
【日時】10月23日(金)10:00～10:30

定員
45名

株式会社環境フォトニクス 代表取締役 木原 敏彦氏
健康機能性成分・生薬・食事制限野菜・輸入依存植物・成長促進と成長抑制等々、人工光ならではの生物環境制御技術が期待されている。弊社の「ムダ光低減LED照明技術」を組み込んだ装置で、これらの付加価値が高い植物の栽培に貢献出来る商品を開発して行く。

お問い合わせ 株式会社環境フォトニクス [担当:木原]
TEL 093-695-3663

C-4

オープンデータの風を西から

【主催】ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州(BODIK)
【日時】10月23日(金)13:00～15:00

定員
45名

【講演1】「オープンデータでインフラをリッジする 課題解決と価値創造」
九州大学 大学院システム情報科学研究所 教授 公益財団法人九州先端科学技術研究所 副所長 ビッグデータ&オープンデータ研究会 in九州(BODIK) 代表 村上 和彰氏
【講演2】「BODIC.orgとSPARQL」
九州大学 システム情報科学研究所 助教 Trouve Antoine (トルヴェ アントワン)氏
【講演3】「自治体取組事例紹介」
調整中
行政が持っているデータを公開し、地域の課題解決や経済振興につなげて行く「オープンデータ」の取り組みが活発になっている。オープンデータが持つ可能性や新しいイノベーションを起こすための仕掛け、オープンデータに関連するSPARQLなどの技術情報のセミナー、また先進的な取り組みを行う自治体の取組事例紹介を行う。

お問い合わせ 公益財団法人 九州先端科学技術研究所 [担当:坂本]
TEL 092-852-3452 E-mail : sakamoto@isit.or.jp

C-5

次世代パワー半導体がもたらすインパクトと最新の開発状況

【主催】公益財団法人 北九州産業学術推進機構 自動車技術センター
【日時】10月23日(金)16:00～17:30

定員
45名

【講演1】16:00～16:30「マイクログリッドシステムと次世代自動車・サービス」
株式会社デンソー 技術開発センター マイクロRO開発室 担当部長 金森 淳一郎氏
【講演2】16:30～17:00「環境対応車両へのSiC/パワーデバイス応用に向けた取り組み」
トヨタ自動車株式会社 パワーエレクトロニクス開発部 主幹 戸田 敬二氏
【講演3】17:00～17:30「パワーデバイス用高温耐熱実装技術」
早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 教授 巽 宏平氏
将来の低炭素社会を構築するためには、再生可能エネルギーの創生にも増して、効率的なエネルギー利用技術の開発が不可欠である。近年話題のSiC、低損失な次世代パワー半導体を活用した高効率エネルギーシステム、次世代環境対応車、並びに実装技術開発の最新状況について、最前線の研究開発に従事する講師をお迎えし、ご講演戴く。

お問い合わせ 公益財団法人 北九州産業学術推進機構 自動車技術センター [担当:上村]
TEL 093-695-3685 E-mail : r-kamimura@ksrp.or.jp

D-1

勝つための商品戦略を支える知財戦略の立て方と
特許情報を活用した具体事例のご紹介

【主催】パナソニック株式会社 ナレッジサービス推進室
【日時】10月22日(木)10:00～12:00

定員
150名

【講演1】「勝つための商品戦略を支える知財戦略の立て方」
パナソニックIPマネジメント株式会社 企画部 企画課 課長 福政 猛志氏
【講演2】「特許情報を活用した具体事例のご紹介」
パナソニックIPマネジメント株式会社 コンサルティング部 部長 西原 和成氏
知財訴訟で利益が吹き飛んでしまう昨今では、商品戦略を支える知財戦略が重要視されてきている。本セミナーでは、従来の特許テーマ管理手法も踏まえながら、知財戦略の体系的な立て方を紹介する。また、特許情報を活用した具体事例では、電子デバイス分野等に関する、特定技術の動向と技術戦略分析の事例を紹介する。

お問い合わせ パナソニック株式会社 ナレッジサービス推進室
TEL 0120-378719 E-mail : uchiyama.yoshiro@jp.panasonic.com

D-2

2020年に向けたパナソニックのICTイノベーション

【主催】パナソニック株式会社 ナレッジサービス推進室
【日時】10月22日(木)15:30～17:30

定員
150名

AVCネットワークス社 イノベーションセンター
無線ソリューション開発部 技術渉外課長 工学博士 上杉 充氏
2020年は、我が国の技術・産業・経済等あらゆる分野が節目を迎える年であり、パナソニックが目指す「より良いくらしの実現」においても、新たなイノベーションが必要不可欠となる。本セミナーでは、特にICT分野において、パナソニックのイノベーションに関する取組を紹介する。

お問い合わせ パナソニック株式会社 ナレッジサービス推進室
TEL 0120-378719 E-mail : uchiyama.yoshiro@jp.panasonic.com

D-3

超高感度磁界センサー低ドリフトマグネトメータと
高平衡グラディオメータ

【主催】九州大学 総合理工学研究院 応用磁気研究室
【日時】10月23日(金)10:00～12:00

定員
150名

「高感度磁界センサを用いた環境磁場計測と微小異物検出」
九州大学 教授 笹田 一郎氏
講演終了後、会場前のホールにてデモンストレーションをおこないます。
基本波型直交フラックスゲート動作に基づく室温動作の高感度磁界センサを紹介する。フラックスゲート磁界センサを高感度化する新しい動作原理と構造および、このセンサの応用例、例えば多チャンネルでの心磁界計測や、低コストマグネトメータによる環境磁場観測、グラディオメータによるわずか50umの微小金属異物の検出例を紹介する。

お問い合わせ 九州大学 笹田研究室 [担当:笹田]
TEL 092-583-7596 E-mail : sasada@ence.kyushu-u.ac.jp

D-4

ミニマルファブ構想と開発状況

【主催】国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター
【日時】10月23日(金)13:00～14:00

定員
150名

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター 研究参与 井上 道弘氏
ミニマルファブは、産総研が提唱する多品種少量生産のニーズに対応する全く新しい半導体生産システムである。
産総研つくばセンターが全体開発を主導し、九州センターはミニマル3DICファブ開発研究会のメンバー企業と共に、半導体後工程のプロセスや装置の開発を行っている。
このミニマルファブの開発状況について紹介する。

お問い合わせ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 九州センター
[担当:渡渡(イノベーションコーディネータ)]
TEL 0942-81-3649 E-mail : saruwatari-arami@aist.go.jp

D-5

低炭素社会に向けた「光合成」の産業化

【主催】北九州市立大学 国際光合成産業化研究センター
【日時】10月23日(金)15:00～17:00

定員
150名

【講演1】「低炭素社会に向けた光合成生物の利用と光合成模倣技術の開発」
北九州市立大学 国際環境工学部 教授 河野 智謙氏
【講演2】「地中海での植物由来バイオオイル回収事例(英語)」
パリ第7大学 明日のエネルギー-学際研究所 准教授 Francois Bouteau氏
【講演3】「植物による環境の知覚と応答(英語)」
フィレンツェ大学 国際植物ニールロバイオロジー研究所 Diego Comparin氏
【講演4】「土壌と植物の炭素循環」
北九州市立大学 国際環境工学部 教授 原口 昭氏
「バイオデブシカシヨ」 「植物機能の模倣と産業化:人工光合成、光化学、ロボティクス、植物工場、バイオコンビューティング」
上記4名の講師+ 北九州市立大学 国際環境工学部 教授 上江洲 一也氏
北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 鈴木 拓氏
※英語の講演については、通訳あるいは日本語での解説を予定。
現在、低炭素社会の実現とエネルギー問題の解決に向けた新技術が望まれています。北九州市立大学では、本年度より「国際光合成産業化研究センター」を開設し、CO₂回収と光エネルギー利用のための国際連携・産学連携に取り組んでいます。本セミナーでは、国内外での光合成の利用と光合成模倣研究の取り組みを紹介します。

お問い合わせ 北九州市立大学 国際光合成産業化研究センター [担当:河野]
E-mail : kawanoken@gmail.com

E-1

活性酸素を用いた生体制御

【主催】有限会社K2R
【共催】北九州市立大学 国際光合成産業化研究センター
【日時】10月22日(木)10:30～12:00

定員
45名

【講演1】「活性酸素生成手法およびその利用領域」
有限会社K2R 研究開発担当取締役 田中 健一郎氏
【講演2】「種子休眠と活性酸素—Seed dormancy and ROS」
パリ第6大学(Pierre and Marie Curie University) 教授 Hayat El-Maarouf-Bouteau氏
【講演3】「活性酸素刺激による発芽誘導」
北九州市立大学 国際環境工学部 環境生命工学科 教授 河野 智謙氏
水中での活性酸素生成濃度は、5μmol/Lに到達させ、それによる様々な生体制御が可能となりました。今回は、植物種子に対する発芽をテーマに、活性酸素が誘導する「種子休眠」と「休眠打破刺激」の世界的権威であるHayat El-Maarouf-Bouteau教授をお招きし、ビデオ供覧を含め、その機序に関して報告していただきます。

お問い合わせ 有限会社K2R 北九州学術研究都市 共同研究開発センター2階 [担当:田中]
TEL 093-603-4323 E-mail : k2r@k2r-co.jp

E-2

生体内に近い新しい細胞培養の開発

【主催】ベセル株式会社
【日時】10月22日(木)15:30～17:00

定員
45名

【講演1】「酸素透過膜を用いた細胞培養」
東京大学生産技術研究所 総合バイオメディカルシステム国際研究センター 機器・生体システム工学研究室 教授 酒井 康行氏
【講演2】「マイクロウェルチップを用いたスフェロイド培養」
北九州市立大学 大学院環境システム専攻環境バイオシステムコース 教授 中澤 浩二氏
【講演3】「生体内に近い新しい細胞培養の開発」
ベセル株式会社 代表取締役 児玉 亮氏
生体内に近い生体外の細胞培養はある意味で永遠の細胞培養の研究テーマである。このために、酸素透過膜の利用、細胞培養面の表面修飾、スフェロイドの利用など様々な試みが行われてきた。細胞培養は、IPS、ES細胞の培養等、これからのバイオ産業の重要なキーテクノロジーであり、これからの展望を含めて、議論したい。

お問い合わせ ベセル株式会社 研究開発室 [担当:児玉]
TEL 093-695-3486 E-mail : kodama@vessels.co.jp

E-3

医歯食工連携ネットワークの技術シーズ
合同新技術説明会

【主催】九州工業大学、北九州市立大学、産業医科大学、
九州歯科大学、国立研究開発法人 科学技術振興機構
【日時】10月23日(金)10:00～16:30

定員
45名

【発表1】「未利用資源"竹"からのノンタール・抗菌性竹酢液」
九州工業大学 大学院生命体工学研究科 生体機能応用工学専攻 教授 西田 治男氏
【発表2】「白ねぎの皮むきへの超音速流れの応用」
北九州市立大学 国際環境工学部 機械システム工学科 教授 宮里 義昭氏
【発表3】「生体センサの開発」
九州工業大学 イノベーション推進機構 産学連携・URA領域 教授 佐藤 寧氏
【発表4】「見守り用小型センサの研究開発」
北九州市立大学 国際環境工学部 情報メディア工学科 教授 梶原 昭博氏
【発表5】「脂肪酸塩による微生物制御」
北九州市立大学 国際環境工学部 環境生命工学科 教授 森田 洋氏
【発表6】「生体信号推定装置」
九州工業大学 大学院工学研究院 機械知能工学研究系 助教 新田 益大氏
【発表7】「球駆動式全方向移動車いす」
九州工業大学 大学院生命体工学研究科 人間知能システム工学専攻 准教授 宮本 弘之氏
【発表8】「歯科治療用新規内視鏡の開発」
九州歯科大学 口腔保存治療分野 助教 吉居 慎二氏 他5名
【発表9】「誤飲時の消化管損傷リスクが小さい薬剤包装の開発」
九州大学 大学院医学系学術 田村 拓也氏
【発表10】「健康に害を与える大気塵(PM2.5など)測定のための小型粒子分級捕集装置」
産業医科大学 産業生態科学研究所 労働衛生工学 教授 明星 敏彦氏

新技術説明会とは、大学等の発明者自身が企業関係者を対象に実用化を展望した技術説明を行い、広く実施企業・共同研究パートナーを募るものである。

お問い合わせ 九州工業大学 研究協力課 [担当:三浦]
E-mail : ken-sangaku@jimu.kyutech.ac.jp
お申し込み 国立研究開発法人 科学技術振興機構のHPから
http://shingi.jst.go.jp/

F-1

環境技術研究所 環境技術セミナー

【主催】北九州市立大学 環境技術研究所
【日時】10月22日(木)15:30～17:30

定員
150名

【講演1】「身近な水中を手軽に見る”小型フレーム構造ROV
(Remotely Operated Vehicle)”の共同開発」
ニッスイマリン工業株式会社 ROV開発担当部長 長倉 敏郎氏
【講演2】「マイクロノズル等の開発のための三次元超音速噴流密度場計測装置
(シュリーレン定常断面撮影装置)の開発」
北九州市立大学 国際環境工学部 機械システム工学科 教授 宮里 義昭氏
【講演3】「薬物送達システム(DDS)技術による創薬開発」
北九州市立大学 環境技術研究所 准教授 望月 慎一氏
【講演4】「U-BCFを用いた高度浄水処理システムのベトナム市場開拓」
一般財団法人 北九州上下水道協会 海外事業課長 原口 公子氏

北九州市立大学環境技術研究所では、企業や研究機関と連携して様々な環境技術の研究開発を行っている。現在重点的に取り組んでいる災害対策技術や北九州市と連携した国際プロジェクトなど、最新の取組とヒックスについて講演する。

お問い合わせ 北九州市立大学 環境技術研究所 [担当:三宅・國]
TEL 093-695-3311 E-mail : kikaku@kitakyu-u.ac.jp